



町では、観光という意味からも、さまざまな景観づくりの取組みを進めてきました。

特に北海道洞爺湖サミットを契機に「洞爺湖町環境基本条例」（平成20年4月1日施行）を制定し、環境の保全や景観の保持を行い、後世に引き継ぐことを決めました。

現在道路や住宅の庭先ではきれいな花が咲き、観光に訪れた人だけでなく、地域住民も和ませてくれています。

花があふれている町は、町民の誇りであり、観光客にとっても大きな喜びとなります。

しかし花での景観づくりは、行政だけでなく、町民皆さん一人ひとりの取組みに支えられなければ、進んでいきません。

日常生活に根ざした個人の活動が、洞爺湖温泉だけでなく、町全体に広がることで、おもてなしとして、大きな効果を生みだします。

今回は、洞爺地区で長年花での景観づくりを、積極的に取り組んできている皆さんの活動を紹介し、町の景観づくりについて考えたいと思います。

**特集**

# 景観づくりはまちのおもてなし